

草木めぐり

野田市郷土博物館・市民会館

野田市郷土博物館は「醤油」に関する資料をはじめ、地域の歴史・文化についての展示を行っています。開館は1959年で千葉県で最初の登録博物館です。また、市民会館は野田の醤油醸造家である旧茂木佐平治邸で1957年に市民の福祉施設として開館しました。どちらも歴史ある建物で、庭園の草木からもその風格を感じます。



イワヒバ
シダ植物で日本庭園によく植えられる



マヨミ
林の縁などに生える落葉樹



キンラン
雑木林に生える野生のラン



タラヨウ
葉に傷をつけると黒くなるので字が書ける



クロチク
稗は次第に黒くなる。庭園などに植えられる



カキノキ
果実は食べられるが、甘柿と渋柿がある



ツツジの仲間
庭木としてさまざまな種類が植えられる



アカマツ
山地に生えるマツで樹皮の色が赤っぽい



イソギク
千葉県～静岡県、伊豆諸島の海岸に自生する



シオン
野菊の一種で平安時代から栽培されている



シラン
日本の野生ラン。育てやすいので古くから栽培されている



ハラン
庭園に栽培される。花は株元につくが自立しない



ハナズオウ
中国原産の花木。春、葉が出る前にびっしりと花を咲かせる



マンリョウ
漢字で万両と書き、縁起が良いので正月飾りにも使われる

野田市郷土博物館

野田市市民会館

カエデ

カエデ



シロヤマブキ
花ひらは4枚。黒い果実ができる



クチナシ
6月頃に咲く白い花は香りが良い



ヒメヤブラン
ジャノヒゲに似るが種子は黒っぽい



ナキリスゲ
林の中に生えるスゲで秋に穂を出す

※2023年11月時点の情報で作成しています。草木は生きものであるため、枯死などの突発的な変化が起こることもあり、必ず見られるとは限りません。

